令和2年度事業報告書	事業所名	介護相談	作成者	小柳　由美子	作成日	R3.3.31

目標	本年テーマ	(計画)　紹介率を上げる。高齢者支援センター(40%⇒50%)、医療機関(11%⇒15%)
		(評価)高齢者支援センター、医療機関からの紹介率は前年度より低かったが、利用者家族からの紹介率が上がっていた。

基本処遇及び運営

■令和2年度処遇及び運営方針に対しての評価

(計画)

① 病院側主催の研修に参加し、地域医療連携室スタッフとの連携を密にしていく

② 毎月の高齢者支援センター訪問時に情報共有を行うと共に新規利用者の依頼があれば積極的かつ柔軟な対応を行っていく

③ 在宅生活困窮者や病院からの在宅復帰が困難な方で(法人のショートステイ希望者)の相談・受け入れを随時対応する

④ サロンや地域支援活動に参加し、顔の見える関係の構築を図る

⑤ 孤独死防止の為、独居老人の把握に努める

(評価)

1年間を通し、コロナ感染拡大防止のため自粛モードで、病院主催の研修はなく、法定研修もリモートで行うものが増えていた。他事業所及び利用者家族とも、極力接触を避けながらの業務遂行であった為、顔の見える関係の構築に関しても満足のいくものではなかった。

研修・セミナー

■職員研修計画と実績

研修 名称	参加実績	研修 名称	参加実績
令和2年度　第1回 児島地区ケアマネ交流研修会	小柳・見越	在宅医療・介護連携推進事業研修会	平松
メンタルヘルス講習会	小柳・石井・平松	主任介護支援専門員研修	見越
令和2年度　第1回 下津井地区ケアマネ研修交流会	小柳・見越・石井・平松	居宅支援事業所管理者研修(法定外)	小柳
令和2年度　第2回 児島地区ケアマネ交流研修会	石井・平松	相談援助技術研修会(法定外)	小柳
令和2年度　第3回 児島地区ケアマネ交流研修会	吉田・平松	ケアマネジャー大会(法定外)	小柳
令和2年度　第4回 児島地区ケアマネ交流研修会	小柳・石井	主任ケアマネ委員会(法定外)	小柳
令和2年度　第2回 下津井地区ケアマネ研修交流会	吉田・平松		

(効果)　コロナ感染拡大防止のため、児島地区ケアマネ交流研修会、下津井地区ケアマネ交流研修会も各事業所2名までとの指示あり。病院主催による研修は児島地区では全く開催されず、水島、倉敷への参加は控えさせていただいた。「在宅医療連携推進研修会」「ケアマネジャー大会」に関してはリモートでの参加となり、講義中心のものならリモートで十分と認識できた。見越CMは11日間の長い研修を経て主任介護支援専門員を取得。小柳も法定外研修4回以上をクリアしたため、3年度主任ケアマネ更新研修を受講する事が可能となった。

会議・委員会・内部研修

■会議・委員会計画実績・効果

会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果
介護相談会議	件数・ご利用者の状態把握、不安な事の相談、情報共有の機会になっている。		
安全衛生委員会	狭い事務所内での安全や衛生面を気に掛ける事が出来ている		
営業会議	件数、収支を把握するとともに、苦情や事業所内の不安を話せる会		
管理者会議	一事業所の管理者では判断できない事を、法人としての判断を周知してもらえる会		
新和会会議	活動なし		
制服委員会	制服が決まった時点で終了した様子		

防災・災害	■災害訓練計画・実績			
	訓練予定月	実施月	訓 練 目 的	訓練評価
	5月		大規模地震・集中豪雨を想定した訓練	
	3月		地域消防との合同訓練	

行事・イベント	■月別行事・内部研修報告	
	月 度	
	4 月	
	5 月	
	6 月	
	7 月	
	8 月	
	9 月	社会保険制度について（高齢福祉・障害福祉・生活保護）等
	10月	
	11月	
	12月	
	1 月	
	2 月	
	3 月	集団指導内容の周知

（総評）
日々の業務に追われ、準備する時間も、皆が集まれる時間も合わず実施する事は出来ませんでした。通年通して必要な書類提出時期の確認や、その都度、困り事や不安などが出現すると指導監査課に確認したり、それぞれの知識を持ちより解決に繋がるようにしている。 社会保障制度については、毎回必要な情報ではない為、見落としがちになってしまう為、新しい情報(担当利用者)を学べる機会には学ばせていただき、マニュアルとして残すようにしていく。